

今、にじ組ではドッチボールへの関心が高まっており、「ドッチボールやりたい」「今日はドッチボールするの?」と楽しみにする子どもたちの姿が見られています。その一方で、「負けたら嫌だな」「どうせ負けるからやりたくないな」など、勝敗に対して不安や悔しさを感じる声も聞かれました。いろんな思いを抱えていることからサークルタイムの時間を設け、ドッチボールについて気持ちを伝え合う時間を作りました。友だちのいろんな意見に耳を傾け、とても良い時間になりましたよ。

サークルタイム

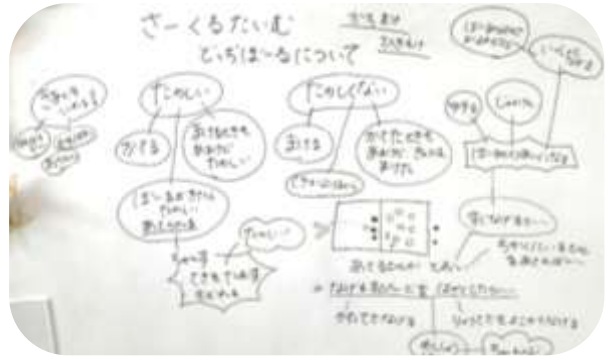
最近ドッチボールをしているけど
どう?楽しい?

勝てるから楽しい

ボールたくさん投げれる
から面白い

敵がよけて当てれんからいや

ボール来たら楽しい



サークルタイムでは「どうすればもっと楽しくなるかな?」「どうしたら勝てると思う?」と子どもたちに問いかけました。すると、「ボールが来たら楽しい」「すぐに投げたら当てれるんじゃない?」などたくさんの意見が聞かれました。みんなで話し合う中で遊びへの期待を膨らませたり「やってみたい」という気持ちを高めたりする姿が見られましたよ。



ボールを同時に取った時は、
じゃんけんをして
投げる人を決めています。

「よろしくお願いします」と握手をしてから
スタートしています。



～ドッチボールの様子～



外野はサイドラインはまだ使わず、
後ろのラインから投げています。

少しの時間でも「ドッチボールしよう」と張り切る子どもたち。子どもたちのやりたいを少しでもかなえてあげられるように日々心掛けています。

ドッチボールをする中で勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを子どもたち自身で感じていけたらいいなと思っています。また、その気持ちをどう次につなげていくかを考え、さらに楽しくドッチボールができればいいなと思います。